



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

会長あいさつ

第六十一代会長 森 健 二



この度、飯能ロータリークラブの第61代会長を拝命いたしました。クラブの歴史の長さ、その品格を思いますと、大変身の引き締まる思いです。微力ではございますが、誠心誠意努めますので、会員の皆様のご指導とご協力をお願いいたします。今年度は、会員の皆様に感動していただけるようなクラブ運営を行っていきたいという気持ちを込めて、飯能ロータリークラブのテーマを「感動を呼び起こそう」といたしました。主な重点項目は以下のとおりです。

- (1) **60周年記念事業**:今年度は飯能ロータリークラブの創立60周年記念事業と記念式典を行う年度です。60周年事業では「地域への愛と奉仕・60年の誓い」をテーマとして掲げ、社会福祉協議会と手を携えて、恵まれない方の為の「基金」を設立したいと考えています。ご協力の程、よろしく願いいたします。
- (2) **地域諸団体との連携強化**:地元飯能に関する情報等を得られるように、飯能市役所を始めとして駿河台大学や社会福祉協議会、商工会議所その他の団体との連携を深めていきたいと考えています。
- (3) **行動計画の策定**:今年度からロータリーでは複数年度の行動計画や未来に向かうためのビジョンの策定が求められています。会員の皆様のご意見を汲みながら会長エレクト・副会長と相談しながら、将来も発展し続けるための行動計画及びビジョン策定を行っていく所存です。
- (4) **会員増強**:国際ロータリー第2570地区では、地区で100名、各クラブで2名の純増を求めています。当クラブでも会員増強は重要な課題と認識しており、会員増強委員長を中心に、会員増強に力を入れたいと思います。しかし一方では、クラブの品格を保つためには、ロータリーアンとしてふさわしい人材確保が必要であり、会員選考委員長のお力もお借りしていく所存です。
- (5) **出席率の向上**:前年度は担当委員長を始めとして、役員の皆様がいろいろと工夫を凝らして出席率を大幅に向上させました。今年度においても、その努力を踏襲していこうと思います。
- (6) **ニコニコBOXについて**:ニコニコBOXの存在意義を再考し、その活用増加を目指します。また、集まった善意の何割かを「基金」設立に充当しようかと考えていますので、ご協力の程よろしく願いします。
- (7) **地区ラーニングへの参加**:感動を感じるためには、ロータリーアンとしての経験が必要です。経験を積むためにはロータリーのことを深く知っておく必要があります。ロータリーのことを知るためには、知識が必要になります。そして知識を得るためにはラーニング(研修)が必要になってきます。今年度は、地区RLIセミナーへの参加を促したいと考えています。特に入会年数の浅い会員全員が参加できるよう、情報提供を積極的に行っていきたいと思います。

今年度は、通常年度に加え記念事業も実行するため、役員・委員長を始めとして、会員の皆様には一層ご負担をおかけすることになるかと思いますが、1年間ご協力をお願いいたします。

任期を終了して

第六十代会長 馬場正春



本年は飯能ロータリークラブ60代会長として、責任の重さを感じたと共に充実した1年になりました。公式訪問例会では、第2570地区の高丹ガバナーに、私が深谷と飯能の繋がりで渋沢平九郎の話をした事で親しみをもっていただくことができ、また深谷の会長とも仲良くなれたことは私の大切な財産となりました。

今年度のテーマとして掲げた「希望を繋げる、善いことをしよう」の一つである子ども食堂については、現在社会福祉協議会との話し合いを重ね、支援ができるよう進んでおります。次年度以降のロータリー事業としての足掛かりとなる計画として、希望の一步を築いたのではないかと思っております。

また方針に基づいた主な活動を簡単に申し上げますと

【交流活動】ライオンズクラブ桜並木の協賛の件で、初めてライオンズクラブが例会場に来てくださいました。これを機会にクラブとの交流関係が続けばと思います。

【例会】市長を始め各委員会の企画で講師の方に卓話をして頂きました。またイニシエーションスピーチを多く取り入れ会員同士のことを知ってもらうきっかけを作りました。

【委員会事業】田辺ロータリー情報委員長による炉辺会談が2度に渡って行われ、入会して3年以内の方を対象にロータリーの基本となる勉強会を開催しました。また島田クラブ奉仕委員長の企画により入間ロータリークラブへのメイクアップツアーを開催。30名の参加を頂き、他クラブの活動内容を知ることができ大好評でした。

【親睦】委員会の皆様に頑張っていた頂き、今年もたくさんの行事を楽しく行うことができました。

【財団補助金】今年もせせらぎ杯が行われ、前年度を超える400名もの参加で盛大に行われました。

【地区事業】2月に齋藤栄作ガバナー補佐によるIM（相撲を通した街づくり）が行われ、わんぱく相撲出身の現役力士を招きました。3月には地区大会が「ロータリー理念と渋沢栄一思想を学ぼう」をテーマに行われました。市民の方達にも参加していただいた事により、ロータリーの活動を広める良いきっかけになったと思います。

その他具体的な内容は別途、活動報告として総括させていただきます。

今年はコロナで自粛されていた行事も全て元通りに開催され、多くの活動が行われました。その中で飯能ロータリークラブでは大人数を生かし、様々な交流を通して生まれたきっかけによって、これからの活気に繋がる1年になったのではないかと思います。この活気をそのままに次年度森会長に繋げ、60周年記念式典の成功に貢献できていれば幸いです。

最後になりますが、スタッフ・委員長に支えられ、事務局さんには大変お世話になり、会員の皆様にはご協力を頂いたことで事業を展開することができましたことを深く感謝いたします。

1年間ありがとうございました。